

教育委員会だより

到達度把握検査(CRT)における学力の定着状況

黒潮町では、「たくましく心豊かな人づくり」を教育行政の基本とし、子どもたちの基礎学力の定着と学力の向上を具体的施策に掲げ、学校教育の充実に向けて取り組みを推進しています。

この具体的施策の達成に向けて、子どもたちの学習の定着状況を把握し、一人ひとりに応じた指導を行い、学習内容の確実な定着が図られるよう、全小中学校でCRTを実施しています。昨年度末(平成十九年一、二月)に実施した、平成十八年度の集計結果をお知らせします。

到達度把握検査(CRT)集計

下のグラフは、CRTの集計結果について全国得点率を「一」とした得点率指数で示したものです。

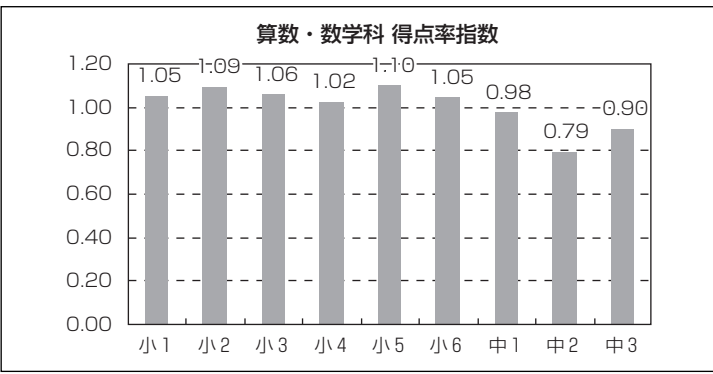
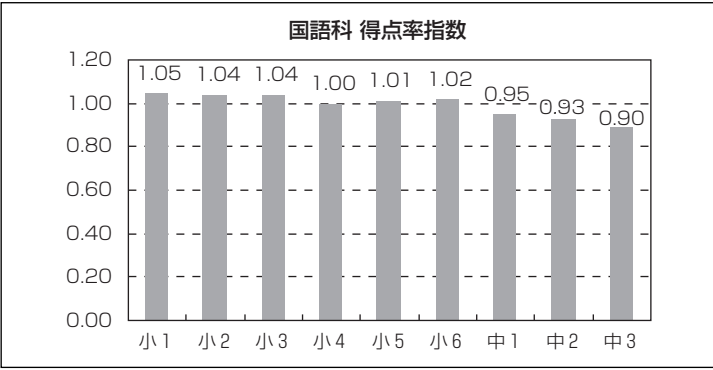
全体的な傾向として、国語科、算数・数学科ともに小学校段階においては、全国と同

等かそれ以上の状況であり、概ね基礎的な学習内容の定着が図られていると思われます。

各学校で、時間割の中に読書の時間、計算・漢字など、基礎的・基本的な内容について学習する時間を設け、学校全体で取り組んだり、複数の教員が指導に当たるチーム・ティーチング指導や、少人数

指導に取り組むなど指導方法や指導体制の工夫をし、一人ひとりの学習状況に応じた指導がなされてきた成果が現れてきているものと考えられます。

一方、学習内容が広がり深まってくる小学校中学年(三・四年生)くらいから、子どもたちの学習内容の定着に差が現れはじめ、上級になるほどその差が広がっていく傾向が見られます。中学校においては全国を下



回る状況が見られ、小学校段階から中学校段階へのよりスムーズな接続が求められます。また、知識・理解の観点や基礎的な計算や漢字を読んだり書いたりすることに比べて、思考力や表現力、読解力の面で課題も見られます。各学校では、子どもたちに身に付けたい力を明らかにし、校内研修において講師を招いて授業を見てもらうなど、子どもたちにとってわかる楽しい授業を目指し、授業改善に取り組んでいます。

また、子どもたちや保護者の方々、地域の方々に学校の取り組みについてのアンケートをお願いし、学校運営の改善に生かし、保護者や地域の方々と連携した取り組みもなされています。このような実践を継続していくことにより、毎日の授業や学校生活が、子どもたちにとって楽しいものとなることと思います。

教育委員会としても、町全体で子どもたちに基礎的・基本的な内容が確実に身に付けられるよう、小学校間の連携や小学校と中学校の連携強化に努めていきたいと考えています。

また、各ご家庭におかれましても、家庭学習や基本的な生活習慣の定着に向けてご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校・家庭・地域が手を携え、子どもたちにかかわっていくことで、確かな学力と豊かな人間性を育んでいきたいと思えます。

各学校の学力の定着状況や具体的な取組については、次回からの広報でお知らせいたします。

※上のグラフの学年は、平成十八年度の学年です。

※全国と同等の定着状況であれば、得点率指数は「一・〇〇」となります。

到達度把握検査(CRT)とは、子どもたちが学習の内容をどれだけ理解しているか、学んだことがどれだけ身についているかを測り、学習内容の定着に役立てる検査です。

○お問い合わせ

教育委員会

☎ 43-1059 (直通)